

製品名: Mox1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14049**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	65kDa

抗原情報

遺伝子名	NOX1
別名	NOX1; MOX1; NOH1; NADPH oxidase 1; NOX-1; Mitogenic oxidase 1; MOX-1; NADH/NADPH mitogenic oxidase subunit P65-MOX; NOH-1
遺伝子 ID	27035.0
SwissProt ID	Q9Y5S8
免疫原	抗血清はヒト NOX1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 436-485

背景

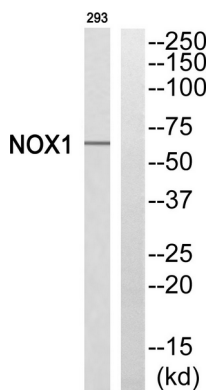
この遺伝子は、酸素から触媒的に一電子伝達を起し、スーパーオキシドまたは過酸化水素を生成する NADPH オキシダーゼファミ

リーに属する酵素をコードする。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されている。[RefSeq 提供、2012年11月], 補因子:FAD, 補因子:NADP, 酵素調節:このオキシダーゼ活性は NOXA1 および NOXO1 によって増強される。機能:NOH-1S は、静止状態の食細胞やその他の組織における H(+)電流を媒介する電位依存性プロトンチャンネルである。細胞内 pH の調節に関与し、亜鉛によって阻害される。 NOH-1L はピリジンヌクレオチド依存性酸化還元酵素であり、スーパーオキシドを生成し、電子伝達機構の一部として H(+)イオンを伝導する可能性がある。一方、NOH-1S は電子伝達鎖を持たない。類似性: FAD 結合 FR 型ドメインを 1 つ含む。類似性: 鉄酸化還元酵素ドメインを 1 つ含む。サブユニット: NOX1、NOXA1、NOXO1、RAC1、および CYBA は、活性酸素産生を促進する機能的な多量体複合体を形成する。NOXA1 および NOXO1 と相互作用する。組織特異性: NOH-1L は、結腸、子宮、前立腺、および結腸癌で検出されるが、末梢白血球では検出されない。NOH-1S は、結腸および結腸癌細胞でのみ検出される。、

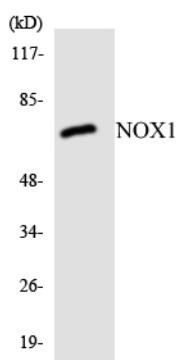
研究分野

白血球の内皮透過性遊走;

画像データ



NOX1 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンには NOX1 ペプチドでブロッキングされている。



NOX1 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。